

■ 未完の大器と仰がれた柔道家

桜庭 武

さくらば たけし

出身地 三種町（旧山本町）

1892年（明治25年）～1941年（昭和16年）

講道館館長・嘉納治五郎が、柔道の理想の道を再生する使命を託した人格者。彼の柔道は常に技より心を大切にする事にあった。東京高等師範学校で後進の教育に当たるかたわら、柔道の修業に努めた。



年譜

- 1892年 三種町（旧山本町）に生まれる。
- 1913年 秋田県師範学校卒業。中通尋常高等小学校訓導。
- 1914年 講道館入門。2段。明治神宮大会で全国優勝。
- 1921年 東京高等師範学校卒業。同校助教授。
- 1928年 東京高等師範学校教授。6段。
- 1935年 学校体操教授要目調査委員。『柔道史攷』刊行。
- 1937年 8段。
- 1940年 東京高等師範学校体育科第二部主任。
- 1941年 東京都で没。48歳。